

放課後スペースviva！運営委員会 2021年度・事業報告書



＜放課後スペースviva！運営委員会（任意団体）＞
大阪府大阪市東淀川区東淡路1-5-51ショッピングタウンエバーレ内
0120-939-070 | viva.higashiyodogawa@gmail.com
<https://viva.syukudai-cafe.net/>

放課後スペースviva！運営委員会

2021年度・事業報告書

(2021年2月1日～2022年1月31日)

●しゅくだいカフェの役割と、私たちの目指すもの

放課後スペースviva！の「しゅくだいカフェ」は、「放課後のこどもの居場所」の1つのスタイルとして、学校の宿題だけ終わらせ、自由に過ごせるフリースペースです。

一人で宿題に取り組むのはむずかしいという子も、スタッフやボランティアがサポートし、見守りのある安心・安全な場で、楽しく放課後を過ごせます。

宿題が終わったら、ポイントカードにスタンプがもらえ、貯まると駄菓子と交換できたり、特別な遊びができたりします。ここ、放課後スペースviva!で始まり、今全国に広がり始めています。

—しゅくだいカフェの役割—

①子育て世帯の「家族だんらん(夜の2時間)」を確保

シングルマザーやシングルファーザーで子育てしている家庭はもちろん、子育て世代の夫婦も他の年代に比べて共働きが多く、一番子どもとコミュニケーションを取りたい時代になかなかその時間がとれないというジレンマがあります。

家族で一緒に過ごせる貴重な夜の時間を、「宿題やったの?」「明日の準備おわってるの?」なんて会話に支配されないように。家に帰るまでに「しゅくだいカフェ」で確実に宿題を終わらせ、夜はしっかりと家族のコミュニケーションをとれるようにサポートしたいと考えています。

②放課後、子どもたちが安全に安心して学べる、遊べる居場所づくり

都会では、また地方でさえも、ひと昔前と比べると、地域コミュニティが疎遠になり、子どもたちが安心してのびのび遊べる場所が減ってきています。小学生がコンビニの前で携帯ゲームで遊んでいたり、細い路地で家に当たらないように気を付けながらキャッチボールをしている姿を見ることがあります。

特に雨が降ると行き場がなくなり、子どもたちは自宅で1人夜まで過ごすことが多いとも聞きます。

そんな地元の子子どもたちに、安全で安心できる学び場・遊び場を提供したいと考えています。

③課題やハンデを持つ子どもを、自然なコミュニケーションの中でサポートする

最近では声高に「子どもの貧困」や「発達障害・学習障害」などの子どもを取り巻く問題が、各種メディアで取り上げられるようになりました。私たちはその専門家ではありませんが、そ

んな課題やハンデを自然なコミュニケーションの中で汲み取り、必要なサポートにつなげていきたいと考えています。

また、しゅくだいカフェは違う学校、異年齢の多くの友達と同じ空間で混ざりあって遊ぶことで、「10年後に社会とつながる」ために支えになるコミュニケーションや多様な体験が積める場でありたいと考えています。

●団体概要

- (1)団体名 放課後スペースviva！運営委員会
- (2)所在地 大阪府大阪市東淀川区東淡路1-5-51ショッピングタウンエバーレ内
- (3)代表者 本川誠(運営委員長)
- (4)組織 小学生の放課後支援と子育て世帯の保護やのゆとり創出を
ミッションとする任意団体
- (5)設立 2016.9.1

●事業の全体像

しゅくだいカフェの現場運営

夏休みなどの長期休暇も含め、平日(月曜日～金曜日)の15:00～19:00の4時間の間、宿題を済ませて自由に遊べる、大人の見守りのあるフリースペースとして居場所を開放しました。

(対象者)

東淡路小学校・菅原小学校区を中心とした、区内の小学生

※学校に行っていない子どもたちも気兼ねなくきてもらえるよう配慮しています。

□来訪人数

2月	延べ来訪人数148人 / 1日平均8.2人
3月	延べ来訪人数156人 / 1日平均6.8人
4月	延べ来訪人数200人 / 1日平均9.5人
5月	延べ来訪人数187人 / 1日平均10.4人
6月	延べ来訪人数198人 / 1日平均9.0人
7月	延べ来訪人数203人 / 1日平均10.2人
8月	延べ来訪人数162人 / 1日平均10.0人

9月	延べ来訪人数197人 / 1日平均14.9人
10月	延べ来訪人数144人 / 1日平均6.9人
11月	延べ来訪人数177人 / 1日平均8.9人
12月	延べ来訪人数162人 / 1日平均9.0人
1月	延べ来訪人数221人 / 1日平均11.6人

□成果

- ・前年度より減少しているものの、居場所にやってくる子どもの数は安定し、放課後を過ごせる場所、楽しいイベントが行われる場所として定着してきていること。
- ・現在、viva!の宿題カフェに日常的にやってくる子どもたちの中には、共働きやシングルマザー、シングルファーザーの家庭も多く、保護者からの「ここがあるので安心できるし、宿題も終わっているのを助かっている」との声も度々聞かれていること。
- ・公的な放課後の子どもたちの受け皿である「いきいき」では受けとめ難いニーズ(より自由に過ごせる)を受けとめることもできていること。

□課題

- ・しゅくだいカフェの活動や理念が、学校や地域からの理解を十分に得られていない側面があること。

毎年新年度には近隣の小学校長を訪ね状況共有をする等の活動をし継続していきます。

- ・学生が主体の運営体制のため、流動的な人材の流れに対応した運営体制づくりを推し進めていきます。

□その他

卓球台を設置するとともにフリースペースをより広くするため、また床に敷き詰めていたパズル型のクッションラグが経年劣化していたことから、スペースの模様替えとリニューアルを行った。タイルカーペットを敷き、きれいになったことで子どもたちからも好評です。



年3回のイベント開催

□成果

7/31「サマーデイキャンプ」参加人数50名

10/24「ハロウィン撮影会」参加人数43名

12/26「クリスマスパーティー」参加人数32名

□課題

イベントの企画が、ボランティア先生の都合で遅くなりがちで、ギリギリになって企画し、広報をし、焦ってイベント準備に取り掛かり、広報の時間が取れなかったりすることがあったので、イベント準備期間を余裕を持っておく。

持続可能な運営のための諸活動

●広報・PRなど

・毎月「活動報告」を作成。代表が新聞配達店を経営している強みを生かし、新聞折込を入れたり、エバーレ内に掲示するなど定期的な発信を継続してきました。

・運営委員の区内外のネットワークを生かし、特にSNS(Facebookなど)を通じて、日常的な情報発信を行なっています。

・大阪を変える100人会議、東淀川工業組合などの場でプレゼンテーションや活動紹介を実施しました。

●寄付募集

・徐々にではあるが、月額サポーターが増えてきています。徐々にリソースが整ってきており、継続できる状態に近づいていると言えます。

●地域や外部組織との連携

・子どもたちとショッピングセンターテナントや、上階住民(エバーグリーン/約3000人が居住)との交流が持てるイベント等を定期開催しています。

(ショッピングセンター内のスーパーでの職業体験・ハロウインの撮影会・カレー食卓など)

・子どもたちが東淀川区内の様々な人と出会えるよう、運営委員の人脈を活用して、イベントのゲストを極力区内の方にお願ひし、その職業の魅力を伝え体験してもらえる企画を毎月提供しています。

・関西大学のボランティアサークルである「KUMC」の方々や大阪経済大学のボランティア部の皆さんにご協力いただき、定期的にボランティア先生としてお手伝いにきてくださるようになりました、

その他、連携している外部組織は以下の通りです。

ひがよど祭実行委員会、関西こども文化協会、ゲストハウス木雲、エバーレテナント会、株式会社西川、大阪を変える100人会議、ふーどばんくOSAKA、ばんざい東淡路